

# 全国協議会

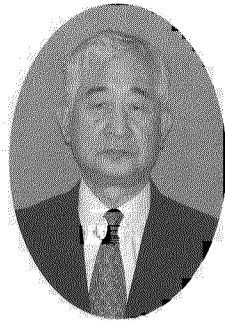
# ニュース

発行所  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都  
新宿区愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL. (03)3356-8217  
FAX. (03)3356-8637  
発行責任者:品川 保弘  
http://www.marow.or.jp/  
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 566655

## 財団新理事長よりご挨拶

前号でお知らせ致しましたとおり、骨髄移植推進財団の理事長が、高久史磨氏から、正岡徹氏に交替しました。正岡新理事長から就任にあたってのご挨拶をお寄せいただきましたので、掲載致します。



このたび、財団法人骨髄移植推進財団理事長に就任いたしました正岡徹です。私はこれまで白血病と40年、骨髄移植とは30年関わってまいりました。最後のご奉公と思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

### 正岡徹氏プロフィール

昭和32年3月 大阪大学医学部卒  
平成8年 大阪府立成人病センター病院長  
平成10年 医療法人恵生会・恵生会病院名誉顧問  
平成16年 厚生第一病院名誉院長  
日本感染症学会総会会長(平成10年)  
日本血液学会総会会長(平成10年)  
骨髄移植推進財団評議員  
骨髄移植推進財団普及広報委員  
日本さい帯血バンクネットワーク事業評価委員長  
等歴任  
現在  
大阪成人病予防協会データセンター長  
日本さい帯血バンクネットワーク副会長  
NPO法人関西骨髄バンク推進協会理事長

骨髄移植例数は851例に達しておりますが、今後、白血病などの血液難病に苦しむ患者さんに、一人でも多くの骨髄移植の機会が広がりますよう鋭意取り組んでまいります。

それには、まず長期的に安定的な運営のための、健全財政の確保やドナー登録の推進が重要です。同時に、業務量の増加に対応して、コーディネートの質の向上と体制の強化、システムの更新等を図る必要があります。また、コーディネートの質は、適切で迅速に行なうためのさらなる取組みとドナーの安全性の確保に努めていきたいと考えております。

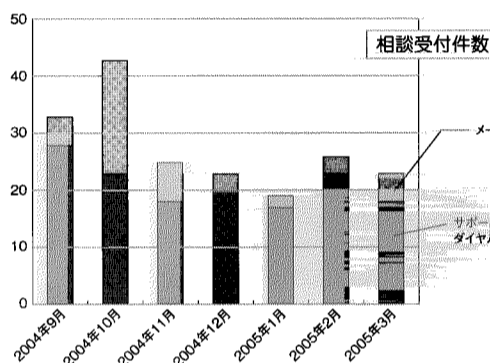
このような財団の課題に対応していくためには、国の指導をいただきながら、骨髄バンク支援ボランティアの皆様をはじめ日本赤十字社、地方公共団体等の関係者と連携・協力関係を深

## ドナーサポートダイヤル報告

ドナーサポートダイヤルが2004年9月1日から開始されて半年余りが経過しました。開始から半年間の状況をお伝えいたします。

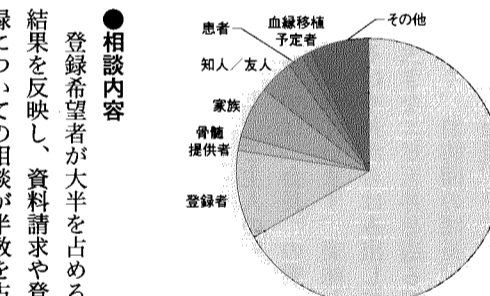
### ●相談受付件数

9月1日から3月末日までの相談件数は合計で192件ありました。事業を始めた当初は、大きく報道されたこともあり、受付件数も多くありましたが、その後伸び悩んでいます。まだまだサポートダイヤルの告知が不足しているのでしょうか。



### ●相談者

思った以上に登録希望者が多く、当初想定していた登録者自身からの相談が少ない現状が窺われます。登録者への働きかけをもっと多くすべきですね。



## 骨髄ドナーに入院給付

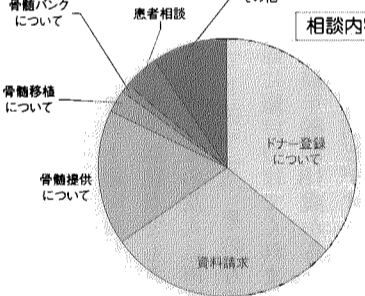


### ●相談内容

登録希望者が大半を占める結果を反映し、資料請求や登録についての相談が半数を占めています。

ブルデンシャル生命保険株式会社は、保険加入者が骨髄ドナーとなった際に、入院給付金を支払う制度を開始しました。この制度は同社の社員が以前から提案しており、同社が金融庁に働きかけ、この3月に保険業法の施行規則が改正されて実現に至ったものです。

先に行われた同社の記者会見には、全国協議会から、大谷副会長、三田村事務局長、大橋理事が同席し、ドナー体験談や他社でも同様のサービスが拡充することを期待する旨の発言を行いました。



全国の普及啓発や登録会場、ドナーサポートダイヤルをどんどんアピールしていただきたいと思っております。



## 骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●ドナー登録者 20歳未満が2カ月で180人、総数は4月も2,000人台  
ドナー登録年齢の下限が3月から「18歳以上」と拡大されたことに伴い、20歳未満の登録者は3月が66人、4月が114人の計180人となりました。登録者総数に占める割合は3月には3.2%だったものが、4月には2倍近い5.7%にも上っており、新年度に入って登録年齢拡大が浸透してきたともいえます。患者さんとの適合検査ならびに骨髄提供は、引き続き「20歳以上」であり、20歳未満の登録者は「保留中」の扱いになります。

また、1カ月間の登録者数は、昨年12月から3カ月間、2,000人を割り込んでいましたが、3月に続き4月も2,000人を超えています。

●JIAAの骨髄バンク支援が今年度も継続。ご協力に感謝します!  
インターネット広告推進協議会(JIAA)は昨年10月から、財団が運営するウェブサイト「ドナースネット」を支援するインターネット広告キャンペーンを繰り広げていましたが、今年度も継続することを決定していただきました。昨年度の支援キャンペーン(2004年10月~2005年3月)では、JIAA加盟媒体各社の協力により、パナー広告、メール広告、モバイル広告などが広範囲に展開され、広告の総額は1億1500万円相当規模となりました。その結果、キャン

## 骨髄バンクNOW

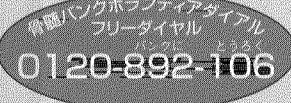
●HLA検査方法・コーディネートの変更について説明会を開催  
財団では7月1日以降、HLA確認検査方法ならびにそれに伴う表記方法の変更を実施する予定です。これに連動して、コーディネートの過程が変更されるとともに、確認検査料も変更される見通しとなっています。HLAの検査方法について、新規のドナー登録者には今年3月1日から「蛍光ビーズ法」が採用されていますが、確認検査も7月1日から同様の方法となります。今回変更になるHLA検査方法や表記・評価の重要性、ならびに患者負担への影響などに関する説明会を、主治医である登録責任医師および連絡責任医師の皆様を対象に、全国7ブロックで開催することになりました。(移植調整部)

●地区普及広報委員、説明員の合同研修会開催  
4月から、地区普及広報委員、説明員の合同研修会が開催されています。今回の研修会は、ドナー登録要件変更の内容確認などが中心です。

●日本骨髄バンクの現状(2005年4月末現在)

	3月	4月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,066	2,008	206,160	264,021
患者登録者数	189	182	2,908	18,215
骨髄移植例数	87	60	-	6,399

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。



## 最新医療情報 その③

### イレッサ(肺癌治療薬) 副作用報道について

イレッサはグリベックと同様、がん細胞を際限なく増殖させるチロシンキナーゼを標的にして、活性を選択的に抑えて治す薬剤です。従来の抗がん剤は、がん細胞と同時に、正常細胞にも作用し、有効性と副作用は表裏一体ですが、分子標的治療薬は、細胞増殖、細胞死(アポトーシス)、転移などに関与するがん細胞に特徴的な分子を標的に開発されるため副作用はぐっと減少しています。

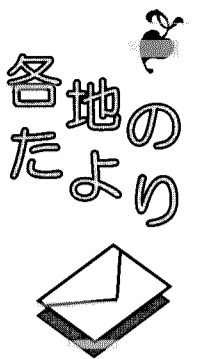
しかし、副作用死が出たことで、期待のイレッサは一気に悪者になりました。患者は戸惑い、医療現場は混乱しています。加えて、誤った情報を伝える新聞記事まで出る始末。やはり「副作用死は『犯罪行為』でしょうか?」

確かに抗癌剤を使う際には副作用には十分に注意を要します。でも副作用のある薬が悪い薬とは限りません。副作用と効果のバランスで、薬の評価は定まるからです。

イレッサは今回、間質性肺炎による副作用死が0.2~0.4%と報じられました。しかしそれを使う患者は進行した非小細胞肺癌で、放置すれば余命は数ヶ月、長くても1~2年くらいの人達です。期待される効果と比較すれば、イレッサは良い薬と評価できます。イレッサの副作用死は、通常の抗癌剤よりもかなり低いからです。

ある患者は「主治医がイレッサの副作用報道の様子をしばらく見たほうがよいと思う、ということで今はイレッサの治療はしていません」という不安を訴えます。医師が副作用報道に押され、治療を中断したのです。別の患者の主治医は「今イレッサを飲み何かあったらマスコミに病院がたたかれる」とも言っています。日本も「何でも訴訟」の時代になってきたから、医師を批難できません。しかし、治療を中断された患者の命はどうなるのでしょうか。

癌で死ぬことは自然現象だから、誰も文句を言いません。でも副作用死となると人為的行為としてまるで犯罪扱いです。報道関係者には癌闘病の現実をきちんと伝えて頂くべく、報道の多大な影響力に猛省を求めたいものです。



各地のたよりを  
写真を添えて  
お寄せください。

### 手裏 さいやき作戦大成功 幕張メッセ登録会

今年も、5月3日から5日にかけての3日間、幕張メッセにおいて開催された「どきどきフリーマーケット」において、献血併行ドナー登録会を実施しました。天気にも恵まれ、入場者は3日間で約21万人と大変な人出でした。

登録会には千葉県業務課の西田課長はじめ、東京、茨城の会等の方々の応援を頂き、延べ21名で呼び込み、登録説明及び募金活動を行いました。3月から開始された「新登録要件」に従ってのグラビアによる説明も順調で、登録時間が大幅に短縮されました。登録者は3日間でなんと103名。昨年(42名)に比べて倍以上の成果でした。献血受付の前で「今日は骨髄バンクへの登録もできますよ」と声掛けする「さいやき作戦」及び登録会場を2箇所にしたことが倍増の要因と思われます。(梅田)



### 埼玉 こいのぼりの下で 元気に登録会

去る5月3日に私の住む街・加須市において市民平和祭が開催されました。



例年、100メートルのジャンボこいのぼりが掲揚されますので、5万人ぐらいの来場ですが(加須市民は6万8000人)今年も、なんと8万人の来場を得ました。その開催場所の利根川河川敷にて加須保健所、(社)加須青年会議所そして埼玉連絡会の協力により、登録会を企画いたしました。今年も、上田知事もバンクのブースにお越しくださいました。矢継ぎ早にバンクの説明やらお願いをしましたので、特に印象に残ったのは...と期待しています。さて、登録会の結果ですが、45名の方にご登録をいただきました。都内からこいのぼりを見に来た、というバイクのお兄ちゃんお二人もヘルメットを片手に登録してくださいました。今年で3回目の登録会となりましたが、こ

れを知った若者たちが夏祭りの登録会も企画したい、と申し出てくださり、今後が期待されます。(大谷)

### 静岡 「青空の天使たち」展 登録会と

4月30日と5月1日、ジャスコ富士宮店にて献血併行型登録会を開催し、両日とも5名ずつの登録がありました。また、5月1日(8日)まで「青空の天使たち」展も開催されました。

この展示会での感想は、準備している時点から、幼くして亡くなった智也君と由佳ちゃんの作品に興味を持ってくれる人がいてびっくりしました。作品を見て「かわいそうね」というだけの人が多い中、ドナー登録や献血してくれる人もいて嬉しかったです。登録にかかわらず、たくさんの方が立ち止まって作品を見てくださったことは、病氣やバンクについて知ってもらう良い機会になったと思います。(大草)



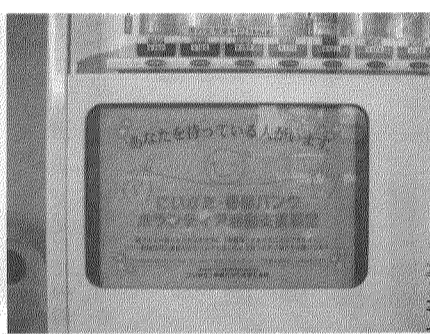
### 新潟 美味しくてあなたがい ご協力に感謝

にいがたの会では、ダイドードリンコ株式会社様のご

協力により、飲料自動販売機の売上額から募金をしていただくことになり5月に第1号機が設置されました。

きっかけは、社員のご家族の知人が骨髄バンクを介して移植を受けて健康を取り戻されたことにより、是非当会を支援したいということからでした。自販機には「収益金の一部はにいがたの会に寄付されます」と明記したシールが貼ってあります。又、設置者の寄付金額も明記されるようになっていきます。

当会は、ダイドーさんと覚書を交わしており、継続的に資金をご支援していただけているのです。大変有り難く思っています。その上、自販機の設置時に骨髄バンクのポスター掲示やチャンス設置にもご協力をいただいています。活動資金獲得に、関心がございましたら当会までご一報を!



### 東京 銀座教会で登録会

4月30日午前9時に東京の中心・銀座にボランティアが続々集合。この教会での登録会は今年で4回目。初めの頃より上手に準備ができるようになりました。外は気持ちのよい晴天。GWの楽しそうな家族連れなどが一杯。チラシ

は一週間前に約500枚、当日に約1000枚用意したものの、なかなか受け取ってもらえませんでした。たくさんチラシを配ればきっと効果が出るという信念で配りました。すぐ近くでの猿回しの芸に黒山の人集りが... (あの猿君が宣伝してくれたらなー) 午前中の登録者は4名と寂しい限りでしたが午後はだんだん多くなり、その上銀座教会の教員でドナー経験者でもある湯原さんが多くの友人に声掛けして下さって、その方達が登録に駆けつけてくれました。

### 鳥取 「火火」上映会と説明会

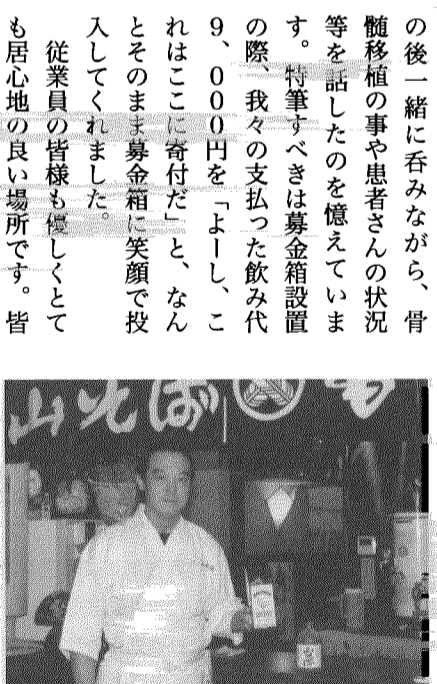
5月1、4、15日に上映会を開催しました。映画「火火」と「登録希望者の方へ」(15分)そして、主催者の壇上アピールをセットにして、一日2回の計6回上映し、およそ800名の方に来場いただき、PRすることができました。

フロアに設置した説明会コーナーでは12名の方が申込記入をされ、当会作成の「ドナー・元患者さんの声」パネル展コーナーにも多くの方に足を止めていただきました。また、アンケート協力や多くの募金など含め、上映後の反響も多々得られました。

## いよいよは募金箱 その13

アの方たちと訪れた時も快く協力して下さい、呑んべエのボランティアの為に、おつまみをサービスして下さい、その後一緒に呑みながら、骨髄移植の事や患者さんの状況等を話したのを憶えています。特筆すべきは募金箱設置の際、我々の支払った飲み代9,000円を「よし、これはここに寄付だ」と、なんとそのまま募金箱に笑顔で投入してくれました。

出合いは10年程前、東京の会、平賀太郎君の紹介でした。駅伝の準備等でボランティアも居心地の良い場所です。皆様も温泉の後は是非お立ち寄りください。



お店のエースの山田君

## 心からのご寄付に感謝申し上げます

4月18日~5月23日

㈱タクトコーポレーション	現金	30,000円
鈴木純子	現金	1,340円
切明 躰	現金	5,000円
三宅 仁	現金	100,000円
塩谷 圭	現金	1,000円
徳田ひろみ	現金	3,240円
福森豊明	現金	1,000円
小峯幸子	切手	1,885円
黒岡美津子	現金	10,000円
須藤勝巳	現金	4,796円
岩本祥和	現金	2,000円
●佐藤さち子患者支援基金		
金子 哲	現金	20,000円
飯島孝枝	現金	1,000円
塩谷久美	現金	5,000円
どらごんてーる	現金	5,000円
切明 躰	現金	5,000円
牧野礼男	現金	4,500円
田島香雪	現金	1,400円
●白血病患者支援基金・募金箱		
広瀬おり子	現金	5,000円
とちぎ薬局本店	現金	7,900円
山本智子	現金	4,549円
ココストア近江屋	現金	2,857円
医療法人 大庚会 こんクリニック松涛	現金	4,929円
ラウンジ青山	現金	7,878円
ファミリーマート池ノ上北口店	現金	5,149円
有限会社スパゴ	現金	1,550円
イオンマリンドア専門館	現金	12,911円
イズカ薬品株式会社	現金	4,089円

### 15周年記念事業協賛金・協賛品 (4月18日~5月23日)

- ブルデンシャル生命保険株式会社 500,000円
- キリンビール株式会社医薬カンパニーマーケティング部 200,000円 (敬称略)

企業、団体のほか、個人の皆様からの協賛も募っております。ご協力、よろしくお願いたします。

活動資金の援助をお願いします

銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

